

事業所名

Kidsサポートはっぴいす

児童発達支援・支援プログラム

作成日

2024年

3月

25日

法人（事業所）理念	ひとりひとりに寄り添い、共に考え成長していく支援を大切に、児童ひとりひとりが療育を通して「できるを増やす！楽しく学ぶ！」ことを目指します。また社会の中で自ら歩んでいける力を育むことを目指します。						
支援方針	コミュニケーションが苦手な子の特性や個性を強みや魅力に変えて、将来大きくなった時に『自分のことが自分でできる』『人と関わって生きていく』ことができるようお子さまの成長をサポートしていきます。また様々な学習支援やカリキュラム、ソーシャルスキルトレーニングを通し、「できた！！」の経験を積み重ね、楽しみながら成長できる環境を作っていきます。						
営業時間	9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容							
本人支援	健康・生活	大人や友達とのやり取りを楽しめるよう、支援員が援助し、お子さんが安心して過ごせる場所を提供します。持ち物の管理、道具や遊具の用意と片付けなど、環境の整備を自立的に行えるよう支援します。パーティションや別室を用意したりして、お子さんが自分の事に集中しやすい環境を作ります。タイムタイマー、絵や文字のスケジュール表などを使って、予定を分かりやすく伝え、自ら時間管理が出来るように支援します。					
	運動・感覚	着席して活動をする静の活動と、体を思いっきり動かす粗大運動、感覚遊び、微細運動や自由に遊ぶ時間を設けます。AI学習システムを活用して、お子さまの習熟度に合わせた学習を行います。					
	認知・行動	具体的な物や絵カードを使った課題や、プリント学習やAI学習の中で、数の操作、形、長さ、大きさ、時間などの概念を学びます。活動の終わりの時間をタイムタイマー、絵や文字のスケジュール表などを使って、予定を分かりやすく伝え、自ら時間管理が出来るように支援します。必要に応じて、個々の感覚特性に配慮した環境を設定します。					
	言語 コミュニケーション	自分のしたいことを伝える、手伝って欲しい時に援助を求めるなど、生活の中で自分自身を大切にするために必要な行動を、適切な場面で発揮できるよう支援します。お子さんの特徴やニーズに応じて、絵カードや身振りや文字を使ったコミュニケーション手段を活用します。SSTや学習を通して集団遊びの中でのやり取りがスムーズにできるよう、ときには支援員が見本を見せたりして助言を行います。					
	人間関係 社会性	グループ活動や、集団遊びの時間を通して、順番に行う、ルールを守る、友達と協力する、失敗や負けを受け入れるといった、他者と一緒に生活していくために必要なスキルを身につける機会を作ります。友達との関わり方に関して、SSTや学習を通してやり取りがスムーズにできるよう、ときには支援員が見本を見せたりして助言を行います。					
家族支援	保護者面談や送迎の際に、当所での様子を丁寧に伝えると共に、家庭での様子の聞き取りを行い、保護者の心配ごとや困りごとへの助言を行います。	移行支援	通園保育所とお子さんの様子や状況、支援内容等の情報を共有します。また、必要に応じて、保育所の保育士にも参加して頂いてケース会議やモニタリングやケース会議を行います。				
地域支援・地域連携	児童の通っている他の発達支援事業所、市役所、保育所と密に連携を図り情報共有するなどして連携を図ります。	職員の質の向上	年に10回の社内研修や外部研修を行い、障がいへの理解を深めたり、新しい支援方法を学んだりします。また、毎週のスタッフミーティングで現在の支援方針について検討し、支援方法の情報共有を行います。				
主な行事等	避難訓練（地震・津波（水害）、火災、年2回）、交通安全指導、不審者対応指導などクリスマスやハロウィンなど行事ごとにイベントを行います。						